

## ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 担当者

—

### 2. 学校概要

学校名 北海道教育大学附属札幌中学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 002-8075

札幌市北区あいの里5条3丁目1-11

E-mail : [sap-fuchu@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:sap-fuchu@s.hokkyodai.ac.jp)

Website : <http://fuzoku-chu.sap.hokkyodai.ac.jp/>

児童生徒数：男子 204 名 女子 195 名 合計 399 名

児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

### 3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解  
 持続発展教育 (ESD) ( 国際理解) ( 世界遺産) ( 平和・人権) 環境 気候変動  
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ( )  
 そのほか ( )



活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（）

**以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ  
記載をお願いします。**

□ 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

◇長崎大学教育学部附属中学校との交流（3年間の継続的な交流）

（教材）

- ◆北海道と長崎県をそれぞれ調査したワークシートの交換（1年時 地理）
- ◆“長崎語り”のレポートの活用（2年時 歴史・道徳）
- ◆修学旅行での長崎大学教育学部附属中学校との交流（3年時 特別活動）

（授業手法）

- ◆北海道と長崎の日々の生活の写真を交換して、実生活と関連づけた地理の学習
- ◆“長崎語り”（長崎の生徒が、自分の祖父母等に調査した戦争時の様子）のレポートによる、日本の現代史の学習の深化（平和学習）
- ◆グループでの話し合いや散策を中心として、長崎大学教育学部附属中学校と本校の生徒の相互作用を生かした平和学習の構築

◇韓国 梨花女子大学附属中学校との交流に向けて

（教材）

- ◆韓国すごろく（本校校長 大津和子の科研費プロジェクト）を用いて、韓国に興味・関心をもつ

（授業手法）

- ◆e-mail を用いて、英語でのやりとり

◇江蘇省塩城中学との交流

（教材）

<日本の教師による>

- ◆日本と中国の生徒のための英語の授業：福笑い、あやとり、折り紙
- ◆日本と中国の生徒のための数学の授業：積み木（投影図の学習）
- ◆日本と中国の生徒のための音楽の授業：日本の琴、中国の箏
- ◆日本と中国の生徒のための理科の授業：人工の雪の結晶の作成
- ◆日本と中国の生徒のための美術の授業：鳥獣戯画の模写

<江蘇省塩城中学の英語の先生による>

- ◆英語を用いた簡単な中国語の勉強

（授業手法）

- ◆グループ学習を中心として、日本と中国の生徒の相互作用を生かした授業づくり

□ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

◆第3学年 修学旅行（平和学習）

□ 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

◆中国 江蘇省塩城中学（ASP ネットワークに参加していない）

◆韓国 梨花女子大学附属中学校（ASP ネットワークに参加している）

□ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）